

こうか
市議会
だより

city
assembly
report

Vol. 41

おもな内容

- 特集①/新春のごあいさつ—— 2~3
- 特集②/初めての議会報告会 —— 4~5
- 議案審議 —— 6~7
- 常任委員会報告 —— 8~9
- 一般質問目次 —— 10
- 一般質問(22名が問う) —— 11~21
- 特別委員会・組合議会の動き—— 22~23
- こうか再発見VOL.13 —— 24



のごあいさつ



開かれた 議会をめざして



議長
西村 利博

輝かしい新春を健やかに
お迎えのことと、謹んで
お慶び申し上げます。
昨年中は市議会に対し
まして、格別のご指導と
ご厚情を賜わり誠にあり
がとうございました。
さて今日、国の内外と
もに大きな変革のうねり
の中にあり、地方行政に

おきましても地方分権が
進み、自己決定・自己責
任による自治体運営が求
められるなど、行政の真
価が問われる時代となっ
てまいりました。

わが甲賀市におきまし
ても、若年層の流出や高
齢化が進む中、若者が定
住する魅力あるまちをつ
くり、持続的で活力あふ
れる地域社会を実現する
ことが、何よりも肝要で
あると思います。

私も市議会議員は、
さらに政策立案能力を高
め、問題意識を共有しな

から課題解決に総力を傾
け、職責を全うしていかな
ければならないと決意
を新たにしているところ
です。

昨年11月には議会報告
会を開催し、市民の皆様
に議会の活動を知ってい
ただき、様々なご意見を
頂戴する機会を設けさせ
ていただきました。

今後開かれた議会を
めざし、種々取り組みを
進めてまいりますので、
皆さま方の一層のお力添
えを賜わりますようお願い
申し上げます。

住み続けたい まちをめざして



総務常任委員長
白坂 万里子

総務常任委員会は、市
行政推進の中核（総合計
画・財政・危機管理・自
治振興等）に関わる委員
会です。昨年は合併して
10年の年輪を刻みまし
た。本年はさらに甲賀市

総合計画に基づき、将来
のまちの姿の共有すべき
目標「人、自然、輝き統
けるあい甲賀」実現に向
けて着実に実行してい
くことが大切です。格差の
ない情報基盤整備事業も
進み、防災拠点としての
庁舎整備も本年から本格
的に始動します。

又、市民の安全向上を
目的としたセーフコミュニ
ニティの認証取得も課題
の一つです。その為にも、
たち上げてから3年にな

ります、自治振興会の検
証を行い、「住んで良かつ
た。住み続けたい。」と
実感できるまちづくりを
進めていかなければなり
ません。現在進めている
（仮称）甲賀市自治基本
条例においても、自治の
基本理念や市政運営の基
本的事項等を定め、自治
の基本ルールをしっかりと
と制定していくことが大
事だと考えます。本年も
よろしく申し上げます。

増加する民生費 を厳正に審査



民生常任委員長
土山 定信

民生常任委員会が担当
する範囲は、「ゆりかご
から墓場まで」とよくい
われ、皆様の生活に密着
する内容となっております。
市役所での所管部署
は、市民環境部、健康福

祉部、甲賀市立の病院事
業となります。

民生費は平成16年度決
算では、約76億円（特
別会計は除く）でした
が、平成25年度決算は、
100億円を超えてお
り、今後も増加の一途を
たどることは明白であり
ます。ただこれらの費用
は、福祉政策の上で必要
不可欠なものであり、簡
単に削減できるものでは
ありません。

しかしながら、当委員

会としては、より市民の
皆様に納得していただ
けるように、その費用の調
査、審査を行い、特に公
平性については神経を注
いでいきます。

人口減少の対策も急務
です。当委員会所管の子
ども、子育て支援や介護
制度などにおいてもその
視点から調査し、課題解
決に向けた提案が図れる
よう取り組んでいきま
す。

線の 活動を





2015年

新春

市民目 議会



議会基本条例の 実現に向けて



副議長
加藤 和孝

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年、甲賀市として市制施行10周年を迎えるという大きな節目の年でありました。甲賀市議会としても、市民に開かれた議会をめざす取り組みの一環として議会報告会を初めて開催させて頂い

た年でもありました。

私は副議長立候補にあたり、議長を補佐する立場を踏まえた上で、合意形成のできる議会運営に努めるとともに、より開かれた議会をめざして議会改革に取り組んでいく旨の所信表明をいたしました。

特に、議会改革では、これまででも特別委員会、分かりやすい質問の方法として一問一答方式を導入したり、議会や委員会に出席した際に定額が支給されていた費用弁償を自宅と庁舎間の距離に

に応じた実費交通費に切り替えることで経費削減を図ったり、議員定数を削減したりするなどの数々の改革に取り組んでまいりました。

これからも、二元代表制の一翼を担う議会としての機能がより強化されるよう、議員間の自由討議や政策提案・提言の取り組みなど議会基本条例で定めている事項の実現に向け取り組んでまいります。

本年もより良き年でありますようご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

教育は人づくり、 をめざして



文教常任委員長
辻 重治

文教常任委員会は、小中学校、幼稚園、文化スポーツそして公民館活動や社会教育など教育委員会が所管する事項について調査、検討する委員会です。

平成27年度から子ども・子育て支援制度に基づく施策が始まります。人口減少が予測されますが、子育て家庭を地域全体で支え、次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つ環境を築くための施策です。

市民の皆様が、生まれて良し、住んで良し、生きて良し。を実感いただける教育施策が実施されるよう、多くの課題について慎重に審査したいと考えています。

考えます。家族や仲間とのスポーツ・レクリエーション活動、芸術及び文化活動を活性化し、皆様の生きがいの場をつくり、互いの交流を通じて、新たな地域文化の創造が出来るよう努めます。

また、次代を担う子どもたちが、たくましい身心と郷土の歴史や伝統文化に誇りを持つ青少年に育ってくださることを心から期待いたします。

将来に向けた 取り組みを大切に



産業建設常任委員長
橋本 恒典

産業建設常任委員会は、できるだけ現場へ行き、積極的に所管事務調査を行ってきました。

特に、一昨年の台風18号災害では道路や河川、農地やため池、上下水道などが多大な被害を受

け、その早期復旧に努めてきたところです。災害復旧にあたりご努力いただいた皆様方に感謝する次第です。

今、甲賀市内では市の事業とともに、国や県の事業も実施されています。

国道では国道1号4車線化の工事が水口地先で行われている他、県道では水口甲南線（水口橋）や葛木竜法師線等の工事が日に日に進んでいます。

一方、新名神高速道路も亀山西JCT〜四日市JCT間の工事が平成30年開通に向け進んでおり、市が進めているIC周辺の土地利用計画や名神名阪連絡道路の実現に向けた取り組みも期待されます。

橋梁の長寿命化を始めとするインフラの維持管理とともに将来に向けた取り組みも大切であり、甲賀市の可能性を活かしたまちづくりに努めていきます。

議 会 を め ざ し て !

初めての議会報告会を開催

市議会では、議会基本条例に基づく第1回議会報告会（市民の皆さまとの意見交換会）を11月13日・14日・15日に市内中学校区6会場で開催しました。

市民の皆さまに日頃の

議会の活動状況を知っていただくとともに、ご意見やご提言を直接伺い、議会審議への活用や議会運営の改善を図り、市民に開かれた議会をめざすために実施するもので、延べ1200人の参加をいただきました。

主な質疑など

① 信楽高原鐵道の復旧と今後について
 ② 議案に対しての公聴について
 ③ 自主財源増のための観光振興について
 ④ 人口減少対策について
 ⑤ 合併後の検証について
 ⑥ 議員の懲罰について
 ⑦ 議員定数について
 ⑧ 甲南インターについて
 ⑨ 滞納金について
 ⑩ 庁舎建設について
 ⑪ 学校の耐震化について
 ⑫ 信楽中央病院について
 ⑬ 議会基本条例について
 ⑭ プライマリバランスについて

報告内容

9月議会で審議した平成25年度決算審査報告をはじめ、各常任委員会（総務・民生・文教・産業建設）での審査内容の説明や経過報告、各特別委員会（議会改革・庁舎整備・信楽高原鐵道対策）の活動報告を行いました。

⑮ 水道管の耐用年数について
 ⑯ 公共施設の長寿命化について
 ⑰ 結婚相談員のあり方等について
 ⑱ 特別養護老人ホームの待機者改善について
 ⑲ 岩上橋の復旧について
 ⑳ 紫香楽宮跡について
 ㉑ 市営住宅の審査について等

アンケート結果

参加者の皆さんのアンケート結果では、議会報告会の開催について、「よかった」が58%と皆様に

ね好評価を頂きましたが、どの会場も参加者が少なく、今後、より一層ご参加いただける工夫をしていきます。

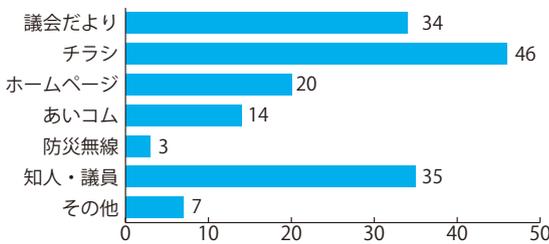
プラス評価をいただきました。「ふつう」は39%でした。一方、「良くなかった」と答えた人は3%でした。継続を求める意見も多くいただき、より市民に信頼され、身近な市議会となるよう、議会報告会を充実させていきたいと考えています。

また、資料とスライドを用いて行った議会報告の内容については、「分かりやすい」が61%、「どちらでもない」が35%、「分かりにくい」が4%の結果でした。運営や答弁を巡り、改善を求める様々なご意見も頂きました。

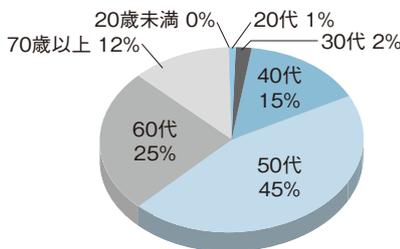
テーマを絞り、専門用語ではなく、わかりやすい報告内容に努める必要があります。

さらに、開始時間や所要時間についてもおむ

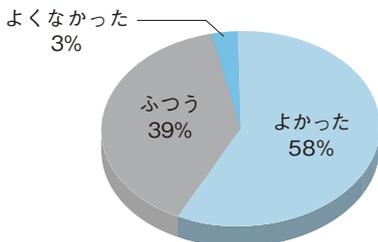
知り得た方法（人）



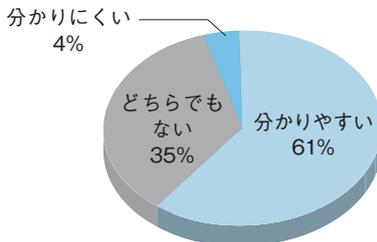
年代



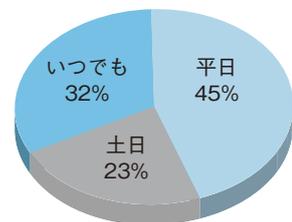
報告会の総合評価は



報告内容・説明



開催曜日の希望



市民に開かれた

アンケートの 主な記述内容

- 今後も開催してほしい。参加者が少ないのが残念。
- 説明はもう少し短い方がよい。
- 初めての取り組みとして評価できる。
- 議会を身近に感じることが出来た。
- 子育てや仕事、介護などに追われる方にこそ、市民参加をしてもらえる仕掛けが必要。
- 議員自らが準備や受付をされ、運営されているのはすごく好感が持てる。
- 意見交換という点では、今後テーマを絞って開催することで活発になる。
- 二元代表制と言いつつ、市議会が発議して何かを始めるとい

議会報告会参加人数

日時	会場	参加人数
平成26年11月13日(木) 19:00~21:00	岩上公民館	11
	甲南庁舎大会議室	21
平成26年11月14日(金) 19:00~21:00	水口社会福祉センター	38
	信楽開発センター	16
平成26年11月15日(土) 19:00~21:00	かふか生涯学習館	15
	土山開発センター	19
計		120

うことが少ない。頑張ってもらいたい。

● 市民参加の手法として、他市では夜間議会、土日議会の取り組みもある。検討されてはどうか。

● 定数の削減をお願いします。

● 魅力ある議会（若者や女性の参加）を作るために、議員報酬を上げることも検討されているかどうか等。

● 今後の報告会などに反映していきます。



甲南庁舎



岩上公民館



信楽開発センター



水口社会福祉センター



土山開発センター



かふか生涯学習館

ご参加いただきありがとうございます。ごさいました。次回は五月頃の予定です。



報告風景



議長あいさつ

条例・人事・補正予算・請願・意見書ほか

条例、補正予算など67議案を慎重審議

平成26年12月定例会は12月2日から12月19日までの18日間にわたり開催され、条例案件7件、人事案件1件、平成26年度補正予算案件12件、指定管理者の指定議決案件40件、市道路線認定案件1件、請願1件、意見書5件の計67件を慎重審議しました。また、あいコムこうかの経営状況等の報告がありました。主な内容は次の通りです。

条例

◆情報公開条例の一部改正

(全員賛成で可決)

◆子育て支援センター条例の一部改正

(全員賛成で可決)

◆児童クラブ条例の一部改正

(全員賛成で可決)

◆児童早期療育支援施設条例の一部改正

(全員賛成で可決)

◆国民健康保険条例の一部改正

(全員賛成で可決)

◆甲南青少年研修センター条例の一部改正

(全員賛成で可決)

◆甲賀市職員の給与に

(全員賛成で可決)

関する条例等の一部改正

※国家公務員の給与改定に伴い、市職員の給与等についても人事院勧告等に準拠し改定する。

(賛成多数で可決)

人事

◆甲賀市教育委員会委員の任命同意

藤田 正美 氏

(甲賀町滝)

(全員賛成で同意)



平成26年度各会計補正予算

◆一般会計補正予算(第4号)(専決処分)

※衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行に伴い、歳入歳出予算に5、700万円を追加。

(全員賛成で承認)

◆一般会計補正予算(第5号)

※老朽化した信楽子育て支援センター等の移転、児童生徒就学援助事業、信楽高原鐵道施設安全対策等の補正。

・主な歳出補正内容は別表の通り。

※新庁舎建設事業に伴う債務負担行為

73億6千万円の設定

(平成27年度～29年度分)

(全員賛成で可決)

◆介護保険特別会計補正予算(第2号)

(全員賛成で可決)

◆病院事業会計補正予算(第2号)

(全員賛成で可決)

以下は、国家公務員給与改定に伴い職員給与等条例改正に基づく補正予算

◆一般会計補正予算(第6号)

(賛成多数で可決)

◆介護保険特別会計補正予算(第3号)

(賛成多数で可決)

(賛成多数で可決)

◆公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

(賛成多数で可決)

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

(賛成多数で可決)

◆病院事業会計補正予算(第3号)

(賛成多数で可決)

◆水道事業会計補正予算(第1号)

(賛成多数で可決)

◆診療所事業特別会計補正予算(第1号)

(賛成多数で可決)

◆介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)

(賛成多数で可決)

(賛成多数で可決)

議決

◆水口東部コミュニティセンターほか、甲賀市が保有している施設の指定管理者の指定に関する議決

※施設数：40施設

指定期間：平成27年4月1日～平成30年3月31日

(全員賛成で可決)

◆市道路線の認定議決

※甲南駅前線他2路線、水口・狐塚線、寺庄2号線他11路線、杉谷2号線、新治地先大明14号支線、八坂5号線他1路線の認定

(全員賛成で可決)

(賛成多数で可決)

(賛成多数で可決)

議会で審議したもの

平成26年度一般会計補正予算（第5号）の主な内容

（金額単位：千円）

補正予算の主な歳出項目	歳出金額
○老朽化した「信楽子育て支援センター」の移転費用（老朽により運営に支障をきたしている信楽子育て支援センターの移転費用）	4,536
○児童生徒就学援助事業、奨学奨励事業の追加費用	3,134
○コミュニティバス運行費追加費用（無料乗車券交付事業の利用者が当初見込みを上回るための補助事業）	7,646
○法改正に伴う税システムの改修費用（制度改正に対応するため、住民税・軽自動車税・法人市民税システムの改修費用）	16,875
○信楽高原鉄道施設の安全対策の追加費用（近畿運輸局の保安監査結果を受けて実施する安全対策費用）	5,421
○単独道路新設改良事業の追加（市道と野佐山線改良事業、市道小倉保線改良事業の不動産鑑定手数料等の追加費用）	2,700
○介護予防支援事業の追加費用（対象者の増加による追加費用）	4,780
○甲賀創建館利活用検討業務の追加費用	2,000
○母子保健事業の追加費用（対象者の増加による追加費用）	3,200
○消防団員費用弁償（台風第11号、第18号、第19号の豪雨対応費用）	3,230

※第5号一般会計補正後の予算総額：360億3956万5千円

※第6号一般会計補正後の予算総額：361億4946万6千円

請願

◆甲賀病院行きコミュニティバス運行の改善を求める
請願
（賛成少数で不採択）

報告

◆（株）道の駅あいの土山の経営状況の報告
※第16期決算状況等報告
◆平成25年9月の台風18号被害の早期復旧

旧を指し設置された信楽高原鉄道対策特別委員会の調査研究と役割が終了した旨の報告

意見書・請願の可否

○：賛成 ●：反対

議案名	提案者	討 論		清風クラブ	市民クラブ	公明党	日本共産党	無所属（谷永）	無所属（竹村）	可否
		賛成	反対							
企業団体献金の禁止と政党助成金の廃止を求める意見書の提出について	山岡	安井	山中	●	●	●	○	●	●	否決
沖縄県知事選挙の結果を受け、名護市辺野古への新基地建設断念を求める意見書の提出について	小西	山岡	田中（実）	●	○	●	○	●	○	否決
消費税増税は先送り実施ではなく、きっぱり中止を求める意見書の提出について	安井	小西	田中（将）	●	●	●	○	●	●	否決
C L Tの普及促進による林業・木材産業の活性化を求める意見書の提出について	田中（将）	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決
産後ケア体制の支援強化を求める意見書の提出について	白坂	討論なし		○	○	○	○	○	○	可決
甲賀病院行きコミュニティバス運行の改善を求める請願	請願者694名	小西	林田	●	●	●	○	●	●	不採択

臨時議会11月11日

人事

◆公平委員会委員の選任同意
村山 富一氏
（甲賀町神）

◆監査委員の選任同意
橋本 律子氏
（甲南町葛木）
（全員賛成で同意）

条例

◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正
（全員賛成で可決）

議会人事

◆正副議長の選挙
議長 的場 計利
副議長 加藤 和孝

報告

◆市道の舗装の窪みに起因する事故、市有自動車での市側の不注意による事故の損害賠償の額を定める。

民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。



勝山市役所にて

所管事務 調査

子ども・子育て応援団支援 計画(案)の説明を受ける

現状やニーズ調査・課題を見つけ対応していこうとする計画です。本計画書も子育て諸制度について確認していくことになりました。

行政視察

平成26年11月22、23日、本市住民の福祉向上の観点から福

井・石川県へ視察研修に出向きました。▼敦賀市の認知症対策について
厚労省の資料では認知症患者数は2010年には200万人程度と言われていましたが、専門家の間では既に65歳以上の人口の10%（242万人）に達し

ていると言われています。この問題は甲賀市としても避けて通ることができない問題です。そこで福井県敦賀市を視察「ほっとけんまち敦賀」の考えのもと、認知症対策に積極的に取り組まれている事例の説明を受けました。認知症を初期段階から支援していこうとする制度や、徘徊等の対応として、登録制度など説明を受けました。

▼勝山市の児童クラブの取り組みについて
子育て日本一を目指す福井県勝山市は、児童クラブにおいても、既に対象を1年生から6年生とされ（本市では27年度からスタート）また、無料化、直営化になっていきます。有効に学校施設を利用され、委員会全員が参考にすべきと感じました。

▼加賀市エコポイント事業について
石川県加賀市の研修ではマイバッグやマイ箸を持参すると、エコポイントが発行される制度を導入、さらに市が主催する健康に関する行事等に参加するとポイントが加算され、市民にエコに対する啓発を積極的に行い、そのポイントは地元の商店街で使用でき、行政と市民が一体となって取り組みが進められています。

総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。

付託案件

「甲賀病院行きコミュニティバス 運行の改善を求める」請願を審査

当常任委員会は12月16日、請願人より提出された請願の審査を行いました。

本請願は、①三雲駅から旧東海道經由甲賀病院行きバスの増便を、②甲賀病院から旧東海道經由三雲行きバス路線の新設を、の2

項目について、694

名の署名を添えて提出されたものです。最初に請願人の代表者2人から、請願の趣旨説明を受けました。請願人への質疑後、総合政策部から請願路線の現状等について説明を受けました。

現状の柏木巡回ルートは、平成17年度より通勤・通学の路線確保から三雲駅への乗り入れを行い、それ以降、重複していたルートおよび乗客が極めて少ないルートについては統合を行ってまいりました。平成25年度からは、甲賀病院移転に伴い、往路1便・復路2便の延伸をし、現在甲賀病



院への往路は直通便が1便と水口庁舎での乗継便2便の合計3便を確保。また、復路は利用実績から乗継便3便を運行しているとのことでした。

主な質疑として、朝の増便ができない理由、直行便の復路廃止の理由、柏木巡回ルートの乗車実績、ダイヤ編成の考えなどが出されました。

質疑の後、請願に対する議員の考え方、議会のあり方、願意に対する議会の政策提言について、議論を行いました。その後、反対2名、賛成1名の討論があり、採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決まりました。



産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

所管事務調査
平成26年度重点事業の進捗状況について
 各部から報告を受けその後、今年度末の完成を目指して実施されている市営住宅寺庄団地建替事業について現地調査を行いました。

市内で進められている国・県事業の内4事業について現地調査を行いました。

○国道1号4車線化
 国道1号（水口道路2工区）の3.6kmの区間で工事、事業期間は平成27年度までとなっています。

総事業費は約15億円、事業期間は平成27年度までとなっています。

○葛木電法師線
 平成28年度完成予定、総事業費は約24億円。

○国道307号（信楽道路・長野バイパス）
 延長2.9kmの道路を信



国道1号の4車線化を視察

当常任委員会では11月20日・21日の2日間にわたり静岡県袋井市と神奈川県秦野市を訪問。

袋井市では供用開始直前の袋井駅南北自由通路及び橋上駅舎と「ふくろいの風景づくり計画」について視察

研修しました。

秦野市ではインターチェンジ周辺の土地利用計画について研修、平成32年の新東名開通に向けて、産業利用・複合型農業生産拠点機能の強化を図る新たな土地利用構想を定められています。

文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

所管事務調査
甲賀市いじめ防止基本方針及び子ども子育て応援計画制度について
甲賀市いじめ防止基本方針決定について
 昨年3月「甲賀市いじめ防止条例」が制定されました。その対策を総合的に推進するための基本方針が示されたところですが、その後の学校における情勢や状況報告を受けまし

た。委員からは学校でもロールプレイやソーシャルスキルトレーニングが実践されていることであるが、それらは定期的に行われているかの質問に対し、いじめに関わる教育活動でいうと、道德教育や人権教育など時間割に組み込まれた中

で実施されていると回答がありました。

○インターネット利用のいじめの現状について
 本市において、スマートフォン所持率、ネットやユーチューブのトラブル、LINEによるいじめ問題等の質問には、平成25年度



10件の事案があり、今年度は現在まで1件との報告がありました。

○子ども・子育て応援団支援計画について
 本計画は、これまで以上に安心して子どもを産み育てる環境を整備され、質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供や地域における子育て支援の充実などを確保を行うための計画です。

委員から、利用者支援事業について、担当部署が複数ある場合の連携について質問があ

り、27年度から支援センター機能が充実され、情報提供・相談助言を行う人的スタッフを設置、また、子どもの成長過程に応じて、それらに関わる担当部署も変わるので、スムーズに連携出来るよう対応していきたいと回答がありました。



所管事務調査

平成26年度事業の進捗状況と国・県事業について調査

行政視察

橋上駅舎・SA周辺の土地利用計画を視察

22人の議員が

市の考えを問う

一般質問

平成26年 第7回甲賀市議会定例会一般質問

平成26年12月10日・11日・12日・15日

順番	氏名	質問事項
1	竹村 貞男	1 学校給食の食材の安全性を確保することについて
		2 ブラック企業の根絶について
		3 個人情報の漏洩防止について
		4 コミュニティバスの停留場(若王寺口)の整備について
2	田中 実	1 河川の浚渫工事について
		2 甲賀市のスポーツの現状などについて
3	片山 修	1 学校のあり方検討や他施設との複合化等について
		2 人生設計から考える少子化対策について
		3 外国人観光客の受け入れの促進について
4	中西弥兵衛	1 史跡紫香楽宮跡整備活用事業実施に向けての取り組み方針を問う
		2 市内小中学校における図書館(室)の充実と5市立図書館のさらなる充実について
5	白坂萬里子	1 女性が輝く社会づくりの整備を
		2 人口増につながる定住促進政策を
		3 文化芸術に触れる機会の拡充を
6	田中 將之	1 しがらきニュータウン内道路の市道認定について
		2 消防団員確保の推進について
		3 甲賀ブランドの現状と今後について
		4 「創造都市ネットワーク日本」への参画と陶芸の森との連携について
		5 地域おこし協力隊の取り組みについて
7	林田 久充	1 人口減少社会における政策展開について
		2 甲賀市公開事業評価の結果について
		3 情報提供と説明責任について
8	辻 重治	1 農業農村振興について
		2 市道の通行止め区間解除と橋梁長寿命化修繕の対応について
9	土山 定信	1 空き家利用対策について
		2 東海道土山宿から水口宿の観光対策について
		3 市道の区画線維持管理について
10	谷永 兼二	1 地域防災の推進について
		2 まち・ひと・しごと創生法に関して市の取り組み状況は
11	田中 新人	1 甲賀市の緊急農業支援について
		2 消防団員の確保対策について
		3 水口西林口ニュータウンについて
12	森嶋 克巳	1 ヘリテージ・マネージャーの養成とヴォーリス設計の旧滋賀銀行甲南支店の保存について
		2 「みなくちこどもの森」の運営と甲賀市の自然環境での生き物について
		3 甲賀市の臨時・嘱託職員の処遇について

順番	氏名	質問事項
13	戒脇 浩	1 生きる力を育てる夢はぐくみ事業について
		2 固定資産税の償却資産の扱いについて
14	橋本 律子	1 男女共同参画の更なる取り組みを
		2 新しい地域支援のあり方と市の目指す仕組みづくりは
15	山岡 光広	1 安心して老後を迎えられるように介護保険制度の充実について
		2 介護激励金の充実について
		3 医療的ケアが必要な子どもに対する対応について
		4 医療的ケアが必要な養護学校児童の通学保障について
		5 通学路の安全対策、特に歩道設置と市道陥没の緊急対応について
16	小西喜代次	1 地方創生法の本市への影響と対応を問う。
		2 信楽高原鉄道運行再開に当たり、市の役割と課題を問う。
		3 国道307号バイパスの開通に向けての課題を問う。
		4 雲井小学校のグランド拡張の早期実現を求める。
17	安井 直明	1 国の悪政のなか市民のくらしと新年度予算を問う
		2 甲賀市が管理する公共用地の利活用について
		3 地域市民センター等の今後について
		4 旧東海道の松並木の管理と松枯れ等に対する効果的な予防対策は
18	橋本 恒典	1 第79回国民体育大会への取り組みについて
		2 児童養護施設「鹿深の家」の現状について
19	山中 善治	1 中山間地振興について(山林関係)
		2 中山間地振興について(全体)
20	竹若 茂國	1 甲賀市の財政状況について
		2 道路整備計画について
		3 人権・同和問題について
21	森田 久生	1 「地方創生」施策を「より早く」「より多く」享受する為に ～甲賀市は今、何をすべきか?～
22	小河 文人	1 北方領土視察に参加して
		2 主要地方道12・16号整備促進について
		3 陶芸の森25周年を迎えるにあたって





一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



うれしい給食（山内保育園）

問 小学校、中学校給食一食あたりの価格は。 **教育部長** 小は200円、中は240円。

問 市職員の時間外勤務手当支給は適正か。 **総務部長** 時間外勤務手当、深夜勤務手当とも市規則に基づき、適正に支給している。

問 1年間、1ヶ月80時間を超えて時間外勤務をした職員は。 **総務部長** 18人。予算編成、災害対応など一時的な理由で、体調管

理を行った上、所属長が勤務命令している。

問 職員の年次有給休暇の取得率は。 **総務部長** 平均取得率は25・3%。9・8日。

問 市職員に対してパワハラ、セクハラ、マタハラは無かったか。 **副市長** 合併後、「甲賀市セクシヤルハラメント及びパワハラメントの防止等に関する規程」を制定している。23人の相談員を任命し、全職員に周知。相談員が受けた相談は職員課に報告され、さらに総務部長を長とする苦情処理委員会に諮られる事になっていく。ハラスメント研修については、毎年管理職を対象に、外部講師を招き実施している。

問 市民の個人情報の流出は無かったか。 **総合政策部長** 記憶媒体やネットワークを通じての個人情報流出は無い。

問 若王寺口のバス停（下り側）の整備を。 **総合政策部長** 区・自治会がバス停の整備をされる場合には、費用の一部を予算の範囲内において補助する制度が有るので、活用いただきたい。



若王寺口（下り側）のバス停

竹村 貞男

Q 学校給食食材の地産地消率は

A 米を含めて食材の使用割合は49・9%



田中 実

Q 浚渫工事が必要な箇所数は

A 現時点で必要な河川数は14本



問 浚渫工事の実施状況は。 **建設部長** 平成25年度は、国又県が実施した浚渫工事は7箇所、区等が事業主体となって県補助の河川愛護活動事業の川ざらえを活用して実施した浚渫工事は7箇所。平成26年度の同工事では5箇所、また、区等の同工事は6箇所である。

問 区等からの要望に対する実施状況は。 **建設部長** 平成25年度は49箇所の要望に対し、国、県が実施した箇所は7箇所、河川愛護活動事業により区等での実施箇所は7箇所、合計14箇所、実施率は29%。また、平成26年度では、11月末時点で35箇所の要望



浚渫工事現場

に対し、県が実施した箇所は5箇所、12月以降に実施予定は1箇所。尚、区等での同事業は実施予定を含め13箇所、実施率は37%。

問 来年度以降の計画は。 **建設部長** 浸水被害箇所や、人家等への被害が発生する恐れのある箇所などから順次実施していく予定で、来年度の予算の配分等を考慮し、実施箇所を決定。

問 甲賀市のスポーツ人口は。 **教育部長** 各施設の利用人数から、延べ30万人前後で増加傾向。

問 スポーツ推進委員の現在の活動状況は。 **教育部長** ニュースポーツの実技研修や、県等主催の各種研修会にも参加。

問 スポーツ推進委員のユニホームは。 **教育部長** 年数も相当経過するなどユニホームの更新も一定必要。



ラジオ体操・みんなの体操会

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



修

片山

Q

今後の小中学校の統廃合の方針は

A

学校のあり方などを検討していく



問 小中学校の統廃合について、どういった方針で臨むのか。

教育長 市内における教育環境に地域間格差が広がる懸念がある。本市が取り組んできた特認校制度の検証や教育環境整備への検討結果をもとに、学校のあり方などを検討していく。

問 地域の学びの拠点として、小中学校と社会教育施設の統合を検討してはどうか。

教育部長 まちづくりの視点から社会教育施設の併設をはじめ様々な可能性について、調査研究を行っている。

問 本市の男女別の平均初婚年齢はどうか。

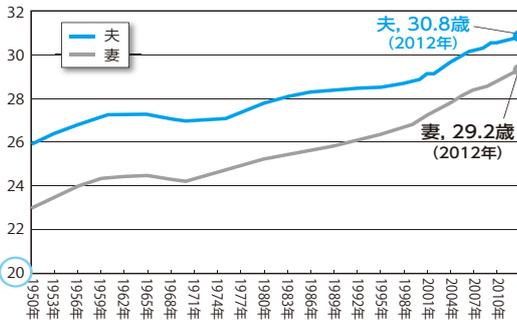
健康福祉部長 平成24年度の平均初婚年齢は男性が「30.1歳」、女性が「28.5歳」である。

問 晩婚化や非婚化、出産年齢の高齢化の原因、課題及び対策は。

健康福祉部長 個々人の結婚や出産、子育てに

関する希望が実現されていない結果であると考えられる。結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」や、地域の特性に応じた少子化対策が重要であると考えている。

国の平均初婚年齢(歳)



◎外国人観光客の受け入れの促進について

その他の質問

中西弥兵衛

Q

図書館を核にしたまちづくりを

A

まちづくり支援の拠点としたい



問 今年のノーベル平和賞を受賞したマラ・ユスフザイさんのスピーチを想いさらなる充実を望むが、ここ10年あまりで全国の図書館は大きく様変わりしており、本市においても「図書館協議会」でのアンケート調査を通じて多くの提言が寄せられている。教育委員会としての今後の方針を問う。

教育長 多くの意見や提言をもとに平成26年に策定した「甲賀市図書館サービス計画」に基づき「集い、であい学ぶことのできるみんなの図書館」として、まちづくり、人づくりを支える拠点となる図書館をめざして取り組んでいる。合併10年間

をふり返り、全国の先進事例を参考に、市民の文化拠点となる図書館をめざしたい。その上、小中学校との連携を図り、子どもたちが「読む喜び、知る楽しみ」に出会える事業をも推進したい。

問 小中学校における蔵書数及び新聞の有無について問う。

部長 平成25年度末で小学校23校で15万9025冊、中学校6校で6万1790冊、毎年、小学校で5000冊、中学校では2000冊ほどの図書を購入している。各校において、必要な図書を選択し、計画的に購入して充実を図っている。新聞については現在のところ配備は

していない。

問 図書館司書の設置状況はどうか。

答 平成26年10月現在の公立図書館の職員数は31人、うち司書有資格者は23人、学校図書館司書は5人で市内全小学校を巡回している。

One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First.

1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。エデュケーション・ファースト(教育を第一)。

マララさんのスピーチより



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

白坂萬里子

Q 女性が輝く社会づくりの整備を

A 実現に向けて取り組みを加速



問 解散総選挙で「女性の活躍推進法案」が廃案となったが、女性が輝く社会づくりの必要性をどのように捉えているか。

市長 人口減少社会の到来で生産年齢人口の減少が進み、労働力の確保や経済成長のためにも女性が輝く社会の実現に向けて取り組みを加速させていく必要がある。

問 女性の活躍を一段と後押しする具体的な対策は。

市長 多様な働き方に対応した保育園や放課後児童クラブの充実推進を図り、企業、事業所に対しても啓発をしていく。また、女性の活躍プロジェクトチームを検討していく。

問 人口増につながる定住促進施策を。

市長 人口減少は生産力の低下、社会保障費の増大、過疎化の進展、地域コミュニティの希薄化など様々な問題と直結しており、全ての市町村に共通する大きな課題である。「甲賀の國づくりプロジェクト会議」を設置し、この中で、「若者の定住促進」などの施策展開に向け検討しているところである。他市からも住み続けたいという憧れを頂けるまちづくりを進めていく。

一流の施設で本物の芸術に触れる機会の拡充を。

教育長 毎年4校から7校の学校が参加しているが、本物の文化芸術に触れる機会をもちながら心豊かな児童生徒の育成に努めていく。

文化芸術スポーツ振興



將之

A 今後、さらに協議を進める

Q しがらきニュータウンの市道認定は



問 しがらきニュータウン内道路の市道認定について6月、9月議会で地元協議をもつたことだったが、協議の場をもつていただけだが、その結果は。また、合併後、同様の団地で市道認定をしたことはあるか、旧町時の認定基準はどうだったか。

建設部長 現地調査のうち、市道認定基準に見合う改修、分筆等の費用を算出し、いくつかの案をもって協議した。地元区は市からの提案を受けて地元で協議し、再度市との協議を進めていきたい意向である。合併後、同様の団地での市道認定は、要件を満たしている路線は認定してい

る。また、旧町時の認定基準は、それぞれの実情に応じて策定されたもので、基準は概ね同様であった。

問 甲賀ブランドの現状と今後について、本年度3回目の認定審査が開かれるが、今年度の状況は。国では地方創生をめざすなかで「ふるさと名物」を進めているが、市がめざす「甲賀ブランド」との違いは何か。「ふるさと名物」といったほうが市民にわかりやすいと思うが、外部事業評価で、抜本的見直しが必要とされたが、今後の甲賀ブランド

について、どのように考えているか。

産業経済部長 今年度は6件の申請があった。今後、本制度を修正、強化しながら今後取り組みを進める。

- 消防団員確保の推進
- 創造都市ネットワーク日本への参画と陶芸の森との連携
- 地域おこし協力隊の取り組み



自治区で管理しているしがらきニュータウン内の道路

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



林田 久充

Q 人口減少社会における政策展開は

A 総合戦略や質の高い土地利用計画



問 先の12月議会にて、人口減少社会の調査、研究について提起したが、庁内ではどのような場で議論を始めているのか。

総合政策部長 将来の急激な人口減少問題に立ち向かい、国、県施策をにらみながら、部局横断的な組織として「甲賀の國づくりプロジェクト会議」を10月に立ち上げた。県平均を下回る合計特殊出生率の低下や若年世代の流出などの要因について分析しているところである。

問 「まち・ひと・しごと創生法」などからみて甲賀市の課題と今後の施策展開についてどうか。また、国の努力義務である総合戦略

と人口ビジョンの策定についてはどうか。

副市長 生活サービスを効率的に提供するために拠点機能をコンパクト化し、中山間地域等では、小さな拠点を形成するとともに、地域を支える産業・雇用の創出などを戦略的に取り組んでいくことと理解している。

今後、本市の状況に即した施策展開を図っていく。総合戦略等の策定は、待ちの姿勢でなく積極的に取り組んでいく。

問 JR貴生川駅等の市有地を活かした土地利用計画の推進と住宅政策について



JR 貴生川駅周辺

の考えを聞く。

市長 今日まで5町均衡ある発展に取り組んだ。土地利用の見直しも大変困難な課題であるが、質の高い土地利用計画を策定し、都市機能の誘導を促すため、立地適正化計画等の策定を検討する。

重治

Q 米価下落対策の対応は

A 収入減少の交付金で対応



問 平成26年産米は、かつてない水準まで価格が下落。その対応は。

産業経済部長 収入減少影響緩和対策と円滑化対策により補填されるよう進めており、6月頃の予定である。

J A ころかでは、再生産の支援策を実施されるかと伺っている。

問 林道の災害復旧の状況はどうか。

産業経済部長 一昨年の18号、昨年の11号

台風の被災は、市管理4ヶ所すべて年度内に完了。森林組合管理の被災は68路線あり、現在39路線が完了し、順次完了に向け、林道整備を図る。

問 岩上橋、猪野部橋、新宇川橋の修繕計画はどうか。

建設部長 岩上橋は、長寿命化

工事の実施に必要な工法検討、事業費の算出を行い、27年度事業実施に向けて取り組んでいく。

甲賀町田堵野と滝にかかる猪野部橋は、工事の着手に向けた準備を進めている。

欄干の取替や、クラックの補修、舗装工を施工し年度内には、長寿命化を図るよう工事を終了する。

問 市道漆谷中山谷線の通行止め解除の予定はどうか。

建設部長 県道甲賀土山線から同小佐治甲南線をつなぐ道路で、平成24年6月の台風から通行止めとしていた。円弧すべりを引き起こす調査結果から、経過観察調査をしていたが、平成27年度に、全面通行止め解除に向けて取り組む。



工事前の猪野部橋

議員は選挙区内にお中元やお歳暮を出すことが禁止されています。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

土山 定信

Q 過疎化ストップ対策を

A 県と一体になり検討していく



谷永 兼二

Q ひと・まち・しごと創生の見解は

A 地域の知恵や創意を生かし資源活用



問 甲賀市は、過疎化が進む中、過疎化ストップ対策が必要と考える。空き家登録制度を、市が担当窓口をつくり、対応する必要があると考えるが、どうか。

産業経済部長 今後利用が増えたら、レンタル自転車乗り捨てシステムも含め検討する。

問 東海道をトイレが必要な場所があるが、今後の設置計画は。

建設部長 融雪剤の影響がなくなれば、区画線の引き直しを実施する予定。

市民環境部長 一市だけでの取り組みでなく県にも要望し、情報収集もして有効な施策を研究していく。

問 甲賀市の観光戦略の三本柱の中に、東海道土山宿から水口宿を位置付けるのであれば東海道は20キロ弱の距離があり、立派な神社仏閣を、歩いて楽しんでいただくのは無理と考える。この区間に乗り捨てできるレンタル自転車を設置してはどうか。

建設部長 区画線の消えかかっている場所は、写真も添付して

問 市道の区画線は、安全施設である。消えかかっているとかが多くあるが、道路パトロールからどのような報告があるのか。

建設部長 融雪剤の影響がなくなれば、区画線の引き直しを実施する予定。



ラインがまったく消えてしまっている市道

問 自主防災組織間の連携、行政との連携は取っているか。

危機・安全管理統括監 電算室のサーバーラック以外は固定できていない。職員家庭での状況は聞き取りし、啓発していく。

問 地方創生施策『ひと・まち・しごと創生法』の活用と、総合戦略の策定は。

危機・安全管理統括監 組織間の連携は把握していないが、地域での自主防災リーダー研修会等で事例発表されている例はある。

行政との連携は、 出前講座や自治振興会での防災士の資格取得の推進を行っており、今後、防災士の連絡会議を設置予定。

市長 チャンスと捉え、30年・50年先を見通した施策を構築し、甲賀市版総合戦略を策定していく。

問 地域防災で不可欠なのは最初の一撃で犠牲にならないための自助である。私たち議員も含め市民の皆さまを守る立場にある者が、助けてもらわなくてはならないようでは元も子もない。家具転倒防止等、庁舎や職員家庭

健康福祉部長 基準を定め、各担当課や滋賀県からリストを収集して、健康福祉部で保管し、民生委員や区・自治会、関係機関に提供する準備をしている。

問 避難行動要支援者名簿の作成状況、共有状況と更新は。

健康福祉部 今後、要支援者の同意を得て、情報共有ができるよう

問 避難行動要支援者名簿の作成状況、共有状況と更新は。

市長 チャンスと捉え、30年・50年先を見通した施策を構築し、甲賀市版総合戦略を策定していく。



災害図上訓練 (DIG)

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



新人

田中

Q

消防団員の確保対策は

A

消防団と連携し課題を直視



森嶋 克己

Q

ヘリテージ・マネージャーの養成は

A

文化財の評価や修理等に必要



問 消防団活動の内容は。

を理解してもらうための幅広いPR活動は。

危機・安全管理統括監

市のホームページやフェイスブック、広報紙、あいコムこうかの

行政情報番組を利用して消防団活動の紹介、

新入団員の勧誘に努めている。

問 消防団員勧誘の市の考えは。

危機・安全管理統括監

区・自治会等で団員勧誘にご協力いただけ

ることは、大変心強いと認識している。若手、

中堅団員らで構成する消防団活性化委員会の

議論を参考に、消防団と調整し課題を直視し

ていく。

問 消防団サポート制度に対する市の考え方

は。

危機・安全管理統括監

この制度は、小売店舗等が優遇措置を行

うもので先進例を研究し、検討していきたい。



出初式

問 米の概算金の大幅引き下げと米相場の大幅下落で、概算金追加

払いはあるのか。

産業経済部長 生産農家の手取りを最優先

に、コシヒカリ1等米で2600円の減で追加払いは承知してない。

問 収入減少影響緩和対策でカバーできるのか。

産業経済部長 標準的収入から10%または

20%の下落分を選択した農家の抛出に応じて

補填する仕組みで、標準的収入を下回った場

合の差額の範囲で最大20%下落額の9割相当

が補填される。

問 米在庫量増大の現在、生産調整の現況は。

産業経済部長 平成27年産米の生産目標数量

を対前年14万トン減の751万トンで本市の

生産目標数量も減じられる方向で今後集落へ

の目標配分を進める。

問 甲賀市内の国宝や重要文化財の件数は。

教育部長 国宝2件を含む、国指定有形文化財は60件、国登録有形

文化財は18件。

問 ヘリテージ・マネージャーの養成の必要性は。

教育部長 文化財の評価や修理、まちづくりへの活用など必要な知識

と技能を習得されているので、本市にも必要

である。甲賀市からも滋賀県建築士会が中心

となって開いている育成講習会に参加されて

いるので、終了者と連携をとって市内の歴史的

建造物の新たな発見や保存修理について情

報交換し、文化財の保存に努めたい。

問 甲賀市のヴォーリズ設計の建物およびその管理は。

教育部長 日本キリスト教団水口教会は水口幼稚園が、旧水口図書

館は甲賀市が保有している。

問 旧滋賀銀行甲南支店の国登録有形文化財登録の時期は。

教育部長 11月21日に国の文化審議会により

登録文化財にふさわしい物件であると

の答申が出されたので3月頃になる予定

である。

問 旧滋賀銀行甲南支店の保存活用について。

教育部長 大正14年に著名な

ヴォーリズが設計した古典的な

ヴォーリズが設計した古典的な



旧滋賀銀行甲南支店



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



店舗の内装、什器も償却資産です

台帳等資産の内容がわかる書類の提出

総務部理事

償却費との照合、現地調査などが考えられるが、適切に行っているか。

内容を充実に、調査を充実させ、引き続き公平かつ適正な賦課を行っていきたく考える。

副市長

本市は製造業の比率が高く、償却資産の固定資産税に占める位置も高い。適正に申告されない方があり、税に対する秩序も保てない。申告義務に対する啓発を図っていくとともに、調査を充実させ、引き続き公平かつ適正な賦課を行っていきたく考える。

問 固定資産税の種類の一つである償却資産に係る税は市税全体の12.5%を占める重要な歳入であるが、賦課にあたっては申告に頼らざるを得なく捕捉が難しい。現在の取扱いは総務部理事 総数は2362件、未申告数は10件である。

問 不動産所得における申告数は。総務部理事 全申告数1810件で、うち償却資産の申告数は92件である。

問 申告未済者への対応は。総務部理事 まず文書により、次に電話により確認を行っている。

問 税負担の公平性の担保、正しい納税意識の醸成の観点から、適正な賦課が必要と考えるが、今後の申告・賦課の考え方はどうか。

副市長 本市は製造業の比率が高く、償却資産の固定資産税に占める位置も高い。適正に申告されない方があり、税に対する秩序も保てない。申告義務に対する啓発を図っていくとともに、調査を充実させ、引き続き公平かつ適正な賦課を行っていきたく考える。

浩 戒協

Q 償却資産に係る税の対応は
A 公平かつ適正な賦課を行う



橋本 律子

Q 女性が活躍できる環境づくりは
A 各種審議会等女性割合50%目標へ

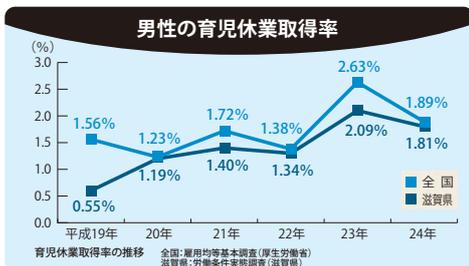


問 男女共同参画の更

ちづくり懇話会の実施状況と課題を伺う。
市民環境部長 年3回開催し、ご提言をいただいている。課題として管理職や、地域役員の女性登用が低いのが現状。効果的な推進方法について具体的な提言をいただいた。成果として共同参画のフォトコンテストや実態調査を実施。また講座を行っている。
問 管理職の女性割合と動向はどうか。
市民環境部長 現計画の中に市職員の推進目標値は設定していないが、国では平成32年に30%まで定めている。現在市では29.3%となっている。

問 男女共同参画の更

なる実現に向け、女性が活躍できる環境づくりが重要と考えるが。
市長 女性は社会のあらゆる分野で重要な役割を担っており、女性が輝くことは、暮らしやすい社会、活力ある社会につながる。審議会等への女性参画が少ない分析は、充て職が多い、公募枠への女性応募が少ない、参画意識が低い等である。現在の5%から平成28年までに一人一役・男女比同数を目指し、見直しを指示し、政策に反映させるよう努める。
問 新しい地域福祉のあり方と仕組みづくりについて、社会、今後の制度をどう築くか。
健康福祉部長 現在策



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



山岡 光広

Q 特養待機、要介護1と2の実態は

A 今後は実態把握が必要と考えている



問 介護保険の特に要支援を地域支援事業に移行にあたって「猶予期間」を有効に。

健康福祉部長 最大限使って検討したい。

問 チェックシートだけでなく、要介護申請があった場合は必ず審査すべき。

健康福祉部長 適切に処理する。

問 特養入所は何人か。待機者はどうか。

健康福祉部長 要介護1が30名、2が42名、3が101名、4が126名、5が120名。待機者は現在384名で、要介護1が65名、2が86名、3以上が233名。どう

いう状態で待機しているかは把握していない。

問 今後「原則要介護3以上」が特養入所となるが要介護1・2から申請があった場合は市から施設に意見表明する。それだけに待機の状況を把握するべきではないか。

健康福祉部長 制度改正以降は実態把握が必要だと考えている。

問 介護激励金支給対象者、拡充すべき。

健康福祉部長 認知症対応として平成25年から特別加算金を支給している。

問 医療的ケアが必要な子どもの実態は。アレルギー除去食に対する対策は。看護師の増員が必要ではないか。

教育部長 アレルギーのある園児は117人、うちエビペンを預

かっているのは5人、内服薬は2人。看護師については国や県に要望している。

問 通学路である県道小佐治甲南線の安全対策は。

建設部長 グリーンベルトなど路面表示による安全対策を実施。

安全対策が急務の通学路 県道小佐治甲南線



安全対策が急務の通学路 県道小佐治甲南線

小西喜代次

Q 雲井小学校グラウンド拡張実現を

A 大規模改修は年次計画で



問 地方活性化に逆行する消費税10%引き上げを断念するよう国に求めるべき。

市長 選挙中でもあり、市長としての見解は差し控えたい。

問 信楽高原鐵道の経営改善への市として今後の課題はなにか。

建設部長 課題は長野バイパスの優先区間における関係機関との設計協議や用地の境界確認、公図訂正である。

また、コンビニでの80歳以上の無料制度を市の事業として信楽高原鐵道でも実施してはどうか。

副市長 市内企業へのエコ通勤の推進や、市が関わるイベントや会議などに信楽地域での開催を企画するなど、利用の仕組みづくりを積極的に進めていく。

新駅設置はまずは観光誘客に努力した上で検討する。

問 信楽の国道307号バイパス計画の現在の課題はなにか。住民への説明が必要ではないか。また、開通のめどはいつか。

建設部長 課題は長野バイパスの優先区間における関係機関との設計協議や用地の境界確認、公図訂正である。

説明会は開催予定。開通のめどは、長野バイパスは平成27年度工事着手、10年後の開通と聞いている。

問 学校のグラウンド改修の

ような大規模改修の計画はあるのか。雲井小学校のグラウンドは何校か。教育長 大規模改修は年次計画で取り組んでいる。改修は安全優先で行っている。同規模グラウンドは4校ある。



直線60M、トラック160Mの雲井小学校グラウンド



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

安井 直明

Q 通行できる岩上橋に

A 27年度工事実施の方針



問 新年度は、同和・人権予算の更なる見直しを。

問 今回で4回目の質問だが、通行可能な岩上橋に。

副市長 26年度6千4百万円減額した。新年度も精査し見直す。

建設部長 検討の結果、新年度、国の交付金の活用により、工事を実施する方針だ。

問 今は、中小零細企業の育成が大切、大きな企業の固定資産税減免はやめよ。

市長 企業が増え、雇用につながるため廃止しない。

問 新年度に向け、住宅リフォーム制度の実施をせよ。

産業経済部長 実績を踏まえ検討する。

問 より良い教育環境のために小・中学校にエアコン設置を。

教育部長 新年度、実施は考えていないが、室温調査は引き続きする。



工事实施方針の岩上橋

問 市保有する土地は、今まで何回も質問し、土地台帳が整備されてきた。今後売却予定地の総金額はどうか。

問 市の保有する土地は、今まで何回も質問し、土地台帳が整備されてきた。今後売却予定地の総金額はどうか。

総務部長 約2億3千万円である。
問 地域市民センターの今後と、人的配



旧東海道の松枯れ

市長 当面は現在の配置を維持する。

問 甲賀大原市民センターの整備方針は。

総務部長 検討委員会での位置、規模などを検討中。方針案がまとまれば市民に意見を聞く場を設ける。

問 旧東海道の松並木の管理と松枯れ等の効果的な予防対策は。

建設部長 水口で8本、土山で3本枯れている。薬剤樹幹注入など防虫対策に努める。

橋本 恒典

Q 第79回国体の本市の取り組みは

A スポーツ振興に向け取り組み



問 国体の開催を通じたまちづくりは。

問 施設改修や整備も必要と考えるが。

教育長 ①スポーツ振興に向けた組織体制の強化②施設の充実と人材の育成・活用に向けた取り組み③スポーツの拡大の3点が大切。

教育長 改修等にあたっては市町競技施設整備に係る県の支援制度等も予定されていることから、国体施設基準を満たし本市のスポーツ環境の充実に資するよう検討していく。

問 市ではどの競技を検討しているのか。

問 施設改修や整備も必要と考えるが。

教育長 本市での競技人口や開催時におけるスタッフなどの確保、市内施設の状態、過去における大会開催状況などについて総合的に検討していく。

問 児童養護施設「鹿深の家」の現状は。

健康福祉部長 鹿深の家には幼児から高校生まで44人、第二鹿深の家には5人が入所しており、職員数は27人。

問 施設の耐震性と災害時の安全対策は。

健康福祉部長 管理棟として利用されている旧佐山中学校の施



健康福祉部長 管理棟として利用されている旧佐山中学校の施



民生委員児童委員と園児による梅の植樹

びわこ国体レスリング競技のプログラム(甲賀町・信楽町)

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



山中 善治

Q

中山間地振興を問う

A

市民一体となり森づくりに取り組む



問 本市の森林の公益的機能の評価は。

産業経済部長 水資源

貯留、洪水緩和、水質浄化、表面浸食防止、表層崩壊防止、保健休養、CO₂吸収、化石燃料代替合計で年間1079億円。さらに景観形成や気象の緩和等、貨幣換算できない機能もある。

産業経済部長 市内の森林所有家数は5ha以下が8割以上を占める。昨年の素材生産量は平成20年と比較し約7倍に増えている。戦後植林されたスギ・ヒノキが伐採時期に至り、国産材に対する需要や木材の再生可能な資源としての重要性が高まりを見せている。

問 関係団体との協働は。

産業経済部長 トヨタ紡織滋賀(株)と土山山林財産区管理会、コープしがと油日・上野共有生産森林組合、(株)ジーテクトと大野山林財産区管理会が「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結び、保全に負担をいただいている。

習やふれあいの場として活用する取り組みをされている。

問 関係団体との協働は。

産業経済部長 トヨタ紡織滋賀(株)と土山山林財産区管理会、コープしがと油日・上野共有生産森林組合、(株)ジーテクトと大野山林財産区管理会が「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結び、保全に負担をいただいている。

問 山林保全の現状



甲賀木の駅プロジェクト 甲賀愛林クラブ

市民活動として甲賀愛林クラブが野洲川で結ばれた豊中市の消費者グループと交流されたり、みなみくち自治振興会を中心として古城山の整備をされたり、環境学

習やふれあいの場として活用する取り組みをされている。

問 里道の新設は。

建設部長 私道等の改良整備については、居住環境改善事業の補助制度を活用いただきました。

竹若 茂國

Q

予算の現状と配分の見直しは

A

幸せを実感できる施策を進める



問 公共事業を発注し、市の産業が元気になる施策も必要と考えるが。

総務部長 公債費が膨らまないよう投資的経費について計画的に進めている。

問 補助事業が他市と比べて少ないのでは。

総務部長 国庫補助金等より有利な合併特例債を財源として有効活用している。

建設部長 市道の安全対策に努める。

問 県道草津伊賀線野田から電法師までの歩道の設置を。

建設部長 現在野尻から野田方面へ順次整備を実施する予定と聞いている。

問 同和という言葉は存在しないのか。

市民環境部長 同和という言葉は存在しないが、地区や人を特定して使用するものではないと考える。

問 同和对策基本計画については。

副市長 基本的には人權総合計画の内の一つとして取り組む。来年度から見直しを行う。

問 同和对策計画を無視しているのでは。

副市長 法令、条例、計画を尊重して行っている。

問 野田中央線の新泉道への接続は。

建設部長 地元との協議を進めてきたが、合意形成に至っていない。

問 新泉道の工事に伴

い。



歩道のない産業道路

う通学路の協議は。

建設部長 27年度秋の工事前に協議を行う。

問 同和地区は存在しないことについては。

副市長 施策上の同和地区は存在しない。

問 同和という言葉は存在しないのか。

市民環境部長 同和という言葉は存在しないが、地区や人を特定して使用するものではないと考える。

問 同和对策基本計画については。

副市長 基本的には人權総合計画の内の一つとして取り組む。来年度から見直しを行う。

問 同和对策計画を無視しているのでは。

副市長 法令、条例、計画を尊重して行っている。

問 野田中央線の新泉道への接続は。

建設部長 地元との協議を進めてきたが、合意形成に至っていない。

問 新泉道の工事に伴

い。

い。

い。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

森田 久生

Q 「地方創生の恩恵」を多く得る為には

A 「待の姿勢」ではなく「積極的」に対応



問 今回は「地方創生活」の「甲賀市総合戦略を「より早く・より多く」享受する為に市は何をなすべきかとの観点で質問した。

問 アベノミクス骨格の「地方創生」に対する総論的な認識は。

市長 地方が持つ地域力「場の力」が大切。独自の魅力の上に新たな施策を構築する「地方再生」が適切と考える。元気な地方創りに繋がることを期待する。

問 甲賀市総合計画や新名神活用戦略と国が目指す「地方創生活」策とのマッチングは。

総合政策部長 今年10月に若手職員で立上げた「甲賀の國づくりプロジェクト会議」で検討を進める。「地方創

生」の「甲賀市総合戦略」を独自に策定し次期の甲賀市新総合計画にも反映させたい。

問 「地方創生」の柱は「人」である。「人を中心据えた環境創り」のメニューは。

総合政策部長 住宅リフォーム補助事業、土地区画整備事業、雇用創出に向けた、甲賀北地区事業がある。今後もプロジェクトで検討を進め「待ちの姿勢」ではなく「積極的姿勢」で斬新なアイデアを出し「住みやすさ日本一」を目指し取り組み。

問 新たに働く場を確保する観



開発が待たれる甲賀北開発対象地域

点から、甲賀北地区の工業団地開発計画について、既に市街化調整区域がはざれている16ha分の先行開発を提案したいが市長の認識は。

市長 現在60haを対象に検討を進めているが、早期事業化の観点から提案の「先行実施案」も含め考えたい。

小河 文人

Q 主要地方道12号・16号整備促進は

A 早期の事業化を県に強く要望する



問 大戸川ダム凍結後の県道16号大津信楽線整備促進・現況について。

建設部長 甲賀市側は黄瀬から桐生トンネルまでの5キロは概ね完成、残りの約2キロは橋桁工事並びに左岸部の改良工事が現在行われており、大津市側残りの4キロも今年度事業実施、平成28年度全線完成を目指して事業が進められている。

問 主要地方道県道12号栗東信楽線の今峠のトンネル化、また、整備促進について問う。

建設部長 滋賀県道路整備アクションプランにおいて一部事業化検討区間の位置付けがあるが、今峠は整備区間に位置づけされていない。

特に本峠は急勾配、通常の日でもほとんど日の当たらない峠で、冬の凍結や積雪、台風などの災害でよく通行不能になる道路だ。この



県道栗東信楽線の今峠

い。しかし、当路線は307号が通行止になった際、大津・水口方面からの迂回路となることから引き続き県に早期の事業化を要望したい。

問 27年度、陶芸の森25周年を迎え、産業展示館の運営についてまた、(公財)陶芸の森との連携について。

産業経済部長 本市として財団をはじめ関係団体と連携強化を図り、陶芸館、創作研修館及び産業展示館の3館連携による事業実施を進め、産業遺産としての信楽焼の認知を図る事業実施に向け検討していきたい。

先には畑・田代区の住民175世帯357名の方々が住んでおられる。住民の安心安全のためには早急に改善すべきであるが。

特別委員会の動き・議会活動報告



庁舎整備特別委員会

甲賀市の新しい庁舎建設

甲賀市の新しい庁舎建設は、年度内に実施設計を完了し、新年度早々に入札契約、夏頃から建設工事に着手し、平成29年度の完成をめざしてその準備がすすめられています。

庁舎整備特別委員会ではこの間、基本設計をもとに実施設計に詳細な改善点が生かされるよう指摘してきました。また建設資材や労務単価の高騰などで事業費が膨らんでいる問題についても精査するよう指摘してきました。

11月19日の特別委員会では、①事業費（総額73億円）の消費税率は、10%で計算されているが設計・入札段階では8%に置き換えること、②机やキャビネットなど備品（総額5億5千万円）については、新調で試算しているが、再利用を含めて検討していくこと、③現在の駐車場用地が建設予定地となるため、庁舎建設工事中の来客・職員用駐車場用地として近隣の土地を借用し、1月に測量設計業務に入ること、④入札公告にあたっては地元業者が参画できるようにJV方式を検討していること、⑤3年間の継続事業となるので債務負担行為とする等のことについて報告されました。

5階の議会フロアーについても「開かれた議会」にふさわしい設計について意見交換しました。

信楽高原鉄道対策特別委員会

夢を乗せ再び走り出した信楽高原鉄道

平成25年9月15～16日

日にかけて猛威を振るった台風18号は、信楽高原鉄道の施設に大きな被害をもたらしましたが、関係者の懸命な努力の結果、平成26年11月29日（土）に、地域の皆様の歡喜の旗に見送られ、再び心地よいディーゼルエンジンを響かせながら走り出しました。



被害を受けてから再開まで439日、列車の運休は1万3181本、代行バスは1万7544台の運行となりました。災害復旧工事予算額は6億7100万円、安全対策事業費予算額は1億2237万円、合計7億9337万円となっています。これらの費用のほとんどが国や県からの災害復旧補助対象となったため、実質甲賀市

の負担額は、6743万円余となっています。早期復旧を目指して設置した信楽高原鉄道対策特別委員会は、現地調査を含め6回開催し、復旧にかかる予算、工事方法等の調査を行いました。再開後の利用促進策についても議論を行い、運行が再開したことにより、調査を終了し、平成26年12月19日付けで廃止されました。

議会活動報告（10月～12月）

10月2日	広報特別委員会	編集会議		
10月6日	信楽高原鉄道対策特別委員会			
10月7日	視察受入【福岡県朝倉市議会】			
10月8日	広報特別委員会	編集会議		
10月9日	総務常任委員会行政視察	八女市役所		
10月10日	総務常任委員会行政視察	武雄市役所		
10月16日	広報特別委員会	編集会議		
10月17日	議会運営委員会			
10月20日	庁舎整備特別委員会			
10月20日	視察受入【埼玉県深谷市議会】			
10月21日	総務常任委員会			
10月21日	視察受入【熊本県天草市議会】			
10月22日	民生常任委員会行政視察	敦賀市役所・勝山市役所		
10月23日	民生常任委員会行政視察	加賀市役所		
10月30日	視察受入【鹿児島県始良市議会】			
11月6日	議会運営委員会			
11月11日	本会議	臨時会		
11月11日	議会運営委員会			
11月12日	産業建設常任委員会			
11月13日	議会報告会	岩上公民館 甲南庁舎		
11月14日	議会報告会			社会福祉センター 信楽開発センター
11月15日	議会報告会			土山開発センター かふか生涯学習館
11月19日	庁舎整備特別委員会			
11月20日	産業建設常任委員会行政視察			袋井市役所
11月21日	産業建設常任委員会行政視察			秦野市役所
11月21日	文教常任委員会			
11月26日	議会運営委員会			
12月2日	本会議			議案上程
12月9日	本会議			議案審議・採決・付託
12月10日	本会議			一般質問
12月11日	本会議			一般質問
12月12日	本会議			一般質問
12月15日	本会議			一般質問
12月16日	総務常任委員会			
12月16日	民生常任委員会			
12月16日	文教常任委員会			
12月16日	信楽高原鉄道対策特別委員会			
12月19日	本会議			委員長報告・質疑・ 討論・採決
12月24日	広報特別委員会			編集会議



組合議会の動き

甲賀広域 行政組合議会

平成26年第4回臨時議会

平成26年
第4回甲賀
定及び給与制度の総合的
見直しを行うものです。

広域行政組合臨時議会
が、昨年12月22日開催さ
れました。

給与に関する条例の一
部を改正する条例の制定
及び一般会計補正予算の
2案が上程されました。

○甲賀広域行政組合職
員の給与に関する条例
の一部を改正する条例
の制定について
これは、国の人事院勧
告に基づき、民間給与と
の格差等に基づく給与改



災害対応特殊救急自動車の車内

報告事項

○災害対応特殊救急自動
車が配備されました。

更新計画に伴って配備
されたもので、気道確保
資器材(救急救命士が処
置できるチューブ類)な
ど最新装備がされていま
す。

甲南消防署甲賀分署に
昨年12月11日から配備さ
れています。

(文責 辻 重治)

公立甲賀病院 組合議会

平成26年第1回臨時議会

さる12月
22日、第1

回の公立甲賀病院組合議
会の臨時議会が開催さ
れ、公立甲賀病院組合職
員の給与に関する条例の
一部を改正する条例、平

成26年度公立甲賀病院事
業会計補正予算(第2
号)の議決についての2
議案についての審議がな
され2議案いずれも原案
どおり可決されました。

今回の補正予算におい
ては後年度に更新を計画
しておりました高額医療
機器について、平成26年
4月からの消費税3%増
税による国の新たな財政
支援政策のもと、「地域医
療介護総合確保基金」に
よる補助が受けられる見
込みとなったため急遽前
倒し整備するものです。

「全身用X線CT診断
装置」の16列型と64列型
の2台は3つのコンセプ

(文責 中西弥兵衛)



新たに購入する全身用X線CT診断装置

トにより新次元の画像診
断を実現することができ
ます。また「消化器内視
鏡ビデオスコープシステ
ム」一式です。これによ
り内視鏡検査による正確
な診断、治療が可能にな
ります。

◎旧公立甲賀病院の建物
は、平成27年度解体着手
の予定。

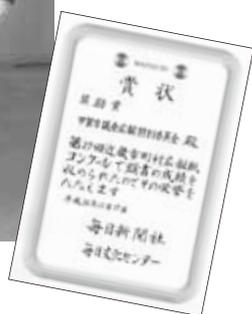
防犯上の問題から早期
の解体を求める声があ
がっていたもので、敷地
面積約一万8000㎡。
病棟4棟などが残ってい
ます。

広報紙コンクール

奨励賞受賞

「市議会だより」39号
(8/1号)が、「第27回
近畿市町村広報コンクー
ル」(毎日新聞社主催)
で奨励賞を受賞しまし
た。

応募55点の中から議会
広報の受賞は2団体のみ
でした。
平成21年の奨励賞に続い
て5回目の受賞。
講評では、写真やグラ
フの多用で読みやすい、
議員自らが撮影する表紙
写真が評価され、「レベ
ルの高い紙面」とされま
した。



「こが 再発見」 Vol.13

ええとこ

市内の原風景

前号までは市内の花の名所の紹介でした。
今号は「原風景」の紹介です。市内には昔ながらの風景や癒されるながめ、何となく風情が醸し出されている名所があります。市民のみなさんからの紹介をお待ちしています。

甲南町

杉谷新田

のどかな田園風景の広がる杉谷新田は三重県との県境に近い小さな集落。まわりは自然と緑いっぱいの山々に囲まれ、田畑はよく管理され畦は常に草刈りされて美しい。また、動植物も多様で自然豊か。



「にほんの里100選」の集落

甲賀町

大原ダム

甲賀町神にある大原ダムは、大自然に囲まれ、町内13集落543ヘクタールの水田を潤している農業用水ダムです。秋になるとダムの周辺は紅葉で真っ赤に染まり絶景のスポットになります。



信楽町

窯元散策路

信楽駅から続く古い佇まいで、登り窯や無造作に積まれた古い火鉢、「陶生町」「焼屋町」「大窯町」といった町名が、風情をかもし出しています。

数日間、連続で焚き続けられる登り窯の立ち上る煙は信楽の風物詩でした。今では、登り窯をいかした観光スポットになっているところもあり賑わいを見せています。



編集後記

▶新しい広報特別委員会での編集作業も、ようやくふためぐり目に。委員8人中7人が初めての委員で、あれやこれやと、みんなが議論しながら進めてきた。▶昨年8月1日号の本紙が毎日新聞社主催の近畿市町村広報紙コンクールで奨励賞を受賞。企画・編集から表紙の写真を撮るまで、すべて委員の手づくり。受賞には委員の喜びもひとしお。▶開かれた議会をめぐす大きな役目を担う議会だよりが、これからも市民の皆さんに読んでもらいやすく、また、親しみやすくなるよう、さらなる努力を。▶4日は立春。待ち遠しい春はそこまで来ている。(広報特別委員 田中将之)

3月議会の予定

- 2月24日 (火) 本会議(第1日) 予算上程
- 2月25日 (水) 本会議(第2日) 予算以外の議案上程
- 3月3日 (火) 本会議(第3日) 代表質問
- 3月5日 (木) 本会議(第4日) 議案審議・採決・付託
- 3月9日 (月) 本会議(第5日) 一般質問
- 3月11日 (水) 本会議(第6日) 一般質問
- 3月12日 (木) 本会議(第7日) 一般質問
- 3月13日 (金) 本会議(第8日) 一般質問(予備日)
- 3月16日 (月) 委員会
- 3月17日 (火) 委員会
- 3月18日 (水) 委員会
- 3月19日 (木) 委員会
- 3月23日 (月) 委員会
- 3月24日 (火) 委員会(予備日)
- 3月26日 (木) 本会議(第9日) 最終日

カメラの



成人式が
挙行された

1月11日に

「未来につ

なぐ1/2成人式」も開催。市が誕生した平成16年生まれの子どもたちが市制10周年の今年、市内小学4年生が一堂に会し、次の10年に向け、将来への夢と希望や成長をメッセージに託しタイムカプセルに。成人式とライブ映像をリンクさせ「歓喜の歌」を合唱しました。



(写真撮影：田中将之委員)